【授業科目】産業看護学特論Ⅰ（産業看護概論）　Advanced Occupational Health Nursing I

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、柴田 英治、大谷 喜美江	１年次 前　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	地域で生活する人々の健康は、生活環境要因とライフスタイルの影響を大きく受けている。産業看護分野における個人,集団,組織に関する理論と概念を学習し、対象に対するサービスや支援活動について学術的に探究できる力を養う。 関連した理論について院生がまとめ、産業看護学分野における活用可能性について現場の活動および関連文献を用いて問題提起を行う。それらのプレゼンテーションをもとに、全員でのディスカッションを通じて看護実践方法、評価、必要な技術についての理解を深める。授業は実務家教員（後藤、大谷、柴田）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業時間内に学生とのディスカッションを通して検討する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①産業看護における理論と概念を理解し、説明することができる。 ②自己や集団のもつ力を発揮できるようなエンパワメントの概念、ケアシステムを理解し、説明することができる。 ③労働者および企業の顕在的、潜在的ニーズを理解し、人々の生活実態にそった支援について理解し、討議できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前にテーマについて教科書、講義で紹介する関連書籍・雑誌を読んで、自身の疑問点や意見を整理しておく。（120 分） 事後は授業での討議内容について振り返り、さらに学びを深める。（30 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第 1 回　オリエンテーション	後藤
	第 2 回　産業保健とは	柴田
	第 3 回　産業看護とは	後藤
	第 4, 5 回　産業看護の歴史①②	後藤
	第 6 回　産業保健・産業看護に関する理論と実践①法規と看護の役割	後藤
	第 7, 8 回　産業保健・産業看護に関する理論と実践②産業保健の 5 分野と看護の役割	後藤
	第 9, 10 回　産業保健・産業看護に関する理論と実践③個人・組織に対する看護支援	大谷
	第 11, 12 回　メンタルヘルスケアと産業看護職の役割①②	後藤・大谷
	第 13 回　中小企業の支援（地域職域連携含む）と看護の役割	後藤・柴田
	第 14 回　健康危機管理における産業看護, 産業看護教育	大谷・後藤
	第 15 回　まとめ	後藤・柴田・大谷

評価方法 評価基準	授業のプレゼンテーション内容・参加態度　50%、　レポート　50%		
教科書	河野啓子, 産業看護学第 2 版 2023 年度版, 日本看護協会出版会	参考書等	適宜、雑誌や書籍を提示する。